

スマートフォン料金と通信品質の 海外比較に関する調査

2020年7月31日

構成員限り

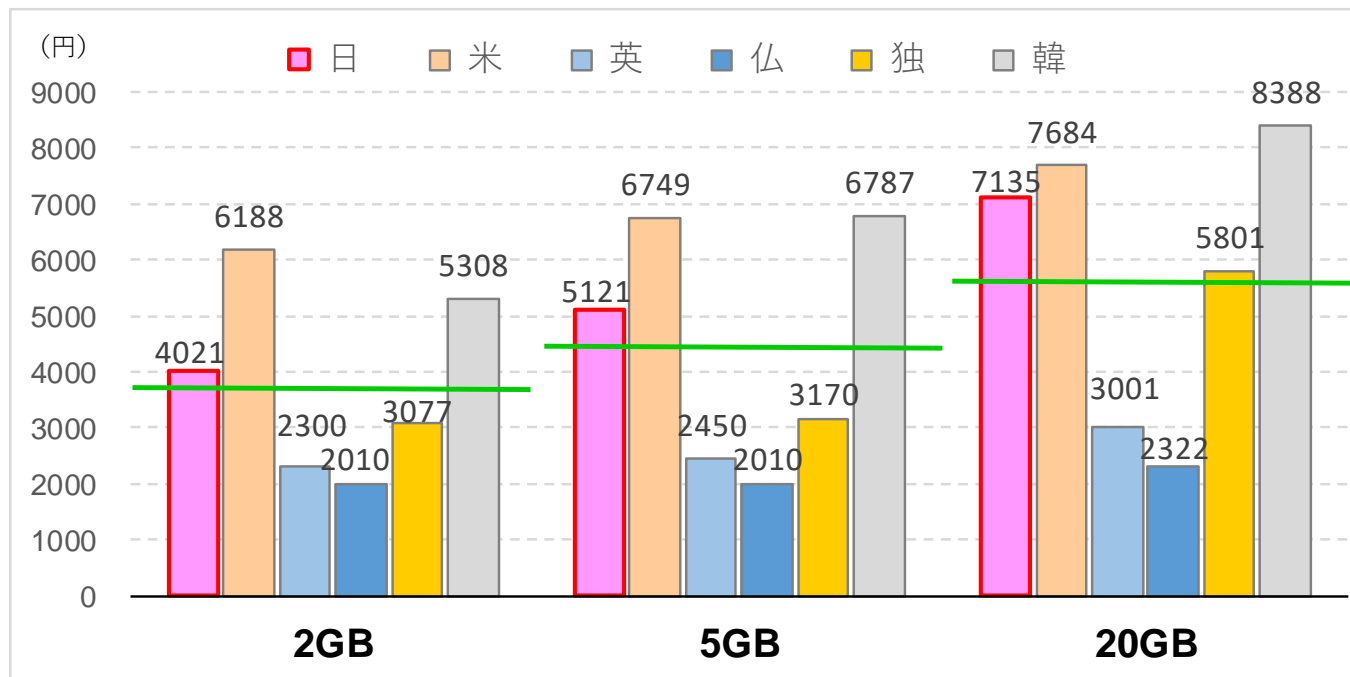
調査定義

- ・料金は、2020年3月1日時点の公開情報を元にした。
- ・料金比較の対象は、基本料金＋データ通信料金（データ定額料金）とした。音声通話は諸外国を含め様々な手段（アプリ）が確立していることや、よりシンプルに比較することを重視したため除外した。ただし、定額の音声通話が切り離せない場合には、料金に含めている。
- ・対象や条件を絞らず、誰もが契約できる料金プランで比較するため、契約に伴って自動的に適用される割引以外は考慮していない。
- ・調査対象事業者は、NTTドコモ（日）、KDDI（日）、ソフトバンク（日）、Verizon（米）、AT&T（米）、T-mobile（米）、Sprint（米）、O2（英）、EE（英）、Vodafone（英）、3（英）、Orange（仏）、Sosh（仏）、SFR（仏）、RED（仏）、Free（仏）、Bouygues（仏）、O2（独）、Blau（独）、Vodafone（独）、Otelio（独）、Telekom（独）、SKT（韓）、KT（韓）、LGU+（韓）。
- ・携帯電話料金は、各国の調査対象事業者の月額平均料金である。一定期間を対象とする割引がある場合には、24ヶ月に平準化した。なお、金額は「税込」を「購買力平価換算」で円通貨に換算した。
（出典：OECD.stat, PPPs and exchange rates, PPP for GDP 2019 アメリカ 103.4円、イギリス 150.0円、フランス 137.1円、ドイツ 139.4円、韓国 0.12円）
- ・間接税（消費税・付加価値税）については、以下を考慮した。日本 10%、アメリカ 8.56%（カリフォルニア州）、イギリス 20%、フランス 20%、ドイツ 19%、韓国 10%。

(1) スマートフォン料金の海外比較

日本の料金は、欧州より高く、米国・韓国よりも安い。概ね中位レベルであった。

表1. 各国主要携帯電話事業者の料金プラン平均（データ容量2GB/5GB/20GB）



- * 各国のシェア上位3携帯電話事業者の料金プラン月額平均値。（基本料金＋データ定額料金）
- * 上記データ容量の料金プランがない場合は、それを超える一番近いデータ容量のプランで比較。
- * 対象や条件を絞らず、誰もが契約できる料金プランで比較するため、契約に伴って自動的に適用される割引以外は考慮していない。緑線は6カ国平均値。

構成員限り

構成員限り

構成員限り

構成員限り

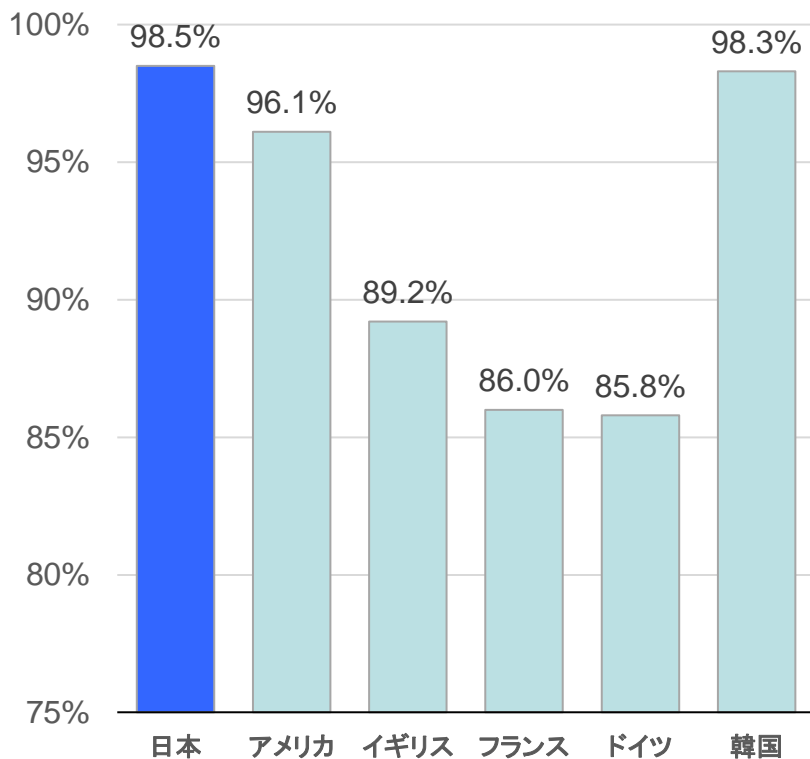
(2) 通信品質の海外比較

構成員限り

4G接続率、通信速度（他社調査結果）

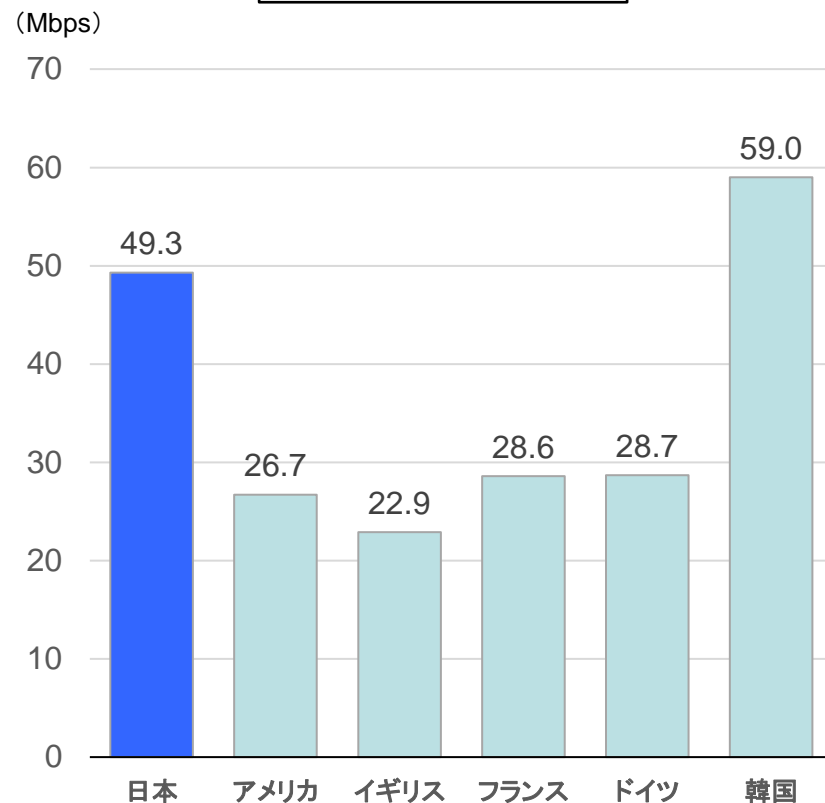
事業者公表値での横並び比較が難しいため、横並びでの通信品質調査結果を公表している Opensignal社のデータを活用して通信品質を比較した。

4G接続率



【出典】 Opensignal: 2020年5月「THE STATE OF MOBILE NETWORK EXPERIENCE 2020」・「4G Availability」

通信速度(平均)

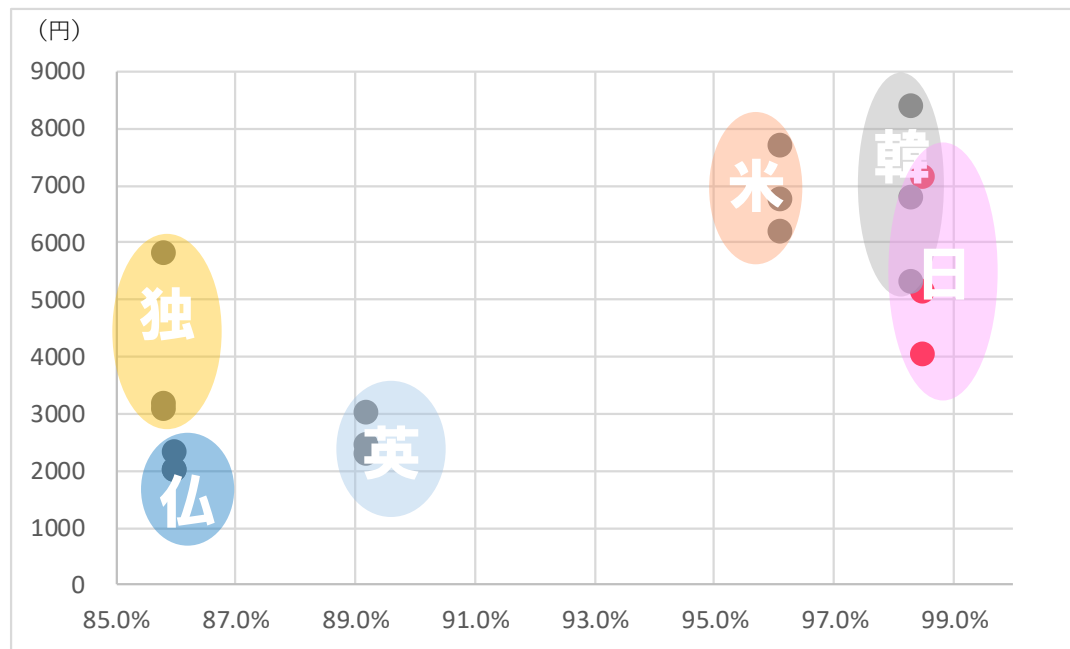


【出典】 Opensignal: 2020年5月「THE STATE OF MOBILE NETWORK EXPERIENCE 2020」・「Download Speed Experience」

各国主要携帯電話事業者の4G接続率と料金の関係性

4G接続率と料金の関係性を分析した。日本の4G接続率は、6カ国の中で最も高い。料金は中位レベルであるのに対し、4G接続率はトップであるため、日本は料金の割に通信品質が高いと言える。

表2. 各国主要携帯電話事業者の4G接続率と料金の関係性



* 縦軸は、各国のシェア上位3 携帯電話事業者の料金プラン月額平均値。

* 横軸は、各国の4G接続率。 (出典：Opensignal社 2020年5月「THE STATE OF MOBILE NETWORK EXPERIENCE 2020」・「4G Availability」)

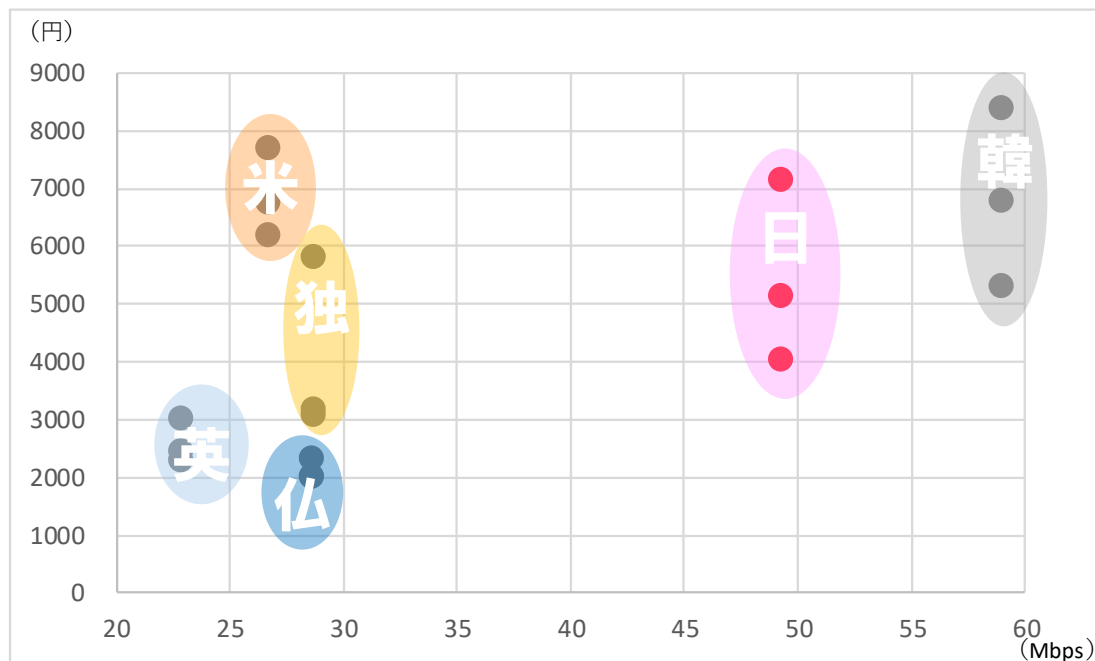
* 4G接続率とは、「利用者が4Gで通信している時間/利用者がモバイル網に接続し通信している時間」の割合を指す。

* 各国の点は、下から「2GB」、「5GB」、「20GB」の料金を表す。

各国主要携帯電話事業者のダウンロード通信速度と料金の関係性

通信速度と料金の関係性を分析した。日本のダウンロード通信速度は、6カ国の中で2番目に速い。料金が中位レベルなのに対し、通信速度は2位であるため、料金の割に通信品質が高いと言える。

表3. 各国主要携帯電話事業者のダウンロード通信速度と料金の関係性



*縦軸は、各国のシェア上位3携帯電話事業者の料金プラン月額平均値。

*横軸は、各国のダウンロード通信速度。（出典：Opensignal社 2020年5月

「THE STATE OF MOBILE NETWORK EXPERIENCE 2020」・「Download Speed Experience」)

* Opensignal社の当該データは2020年1月1日～3月30日の取得データであり、国によって5Gが混在する。

* 各国の点は、下から「2GB」、「5GB」、「20GB」の料金を表す。

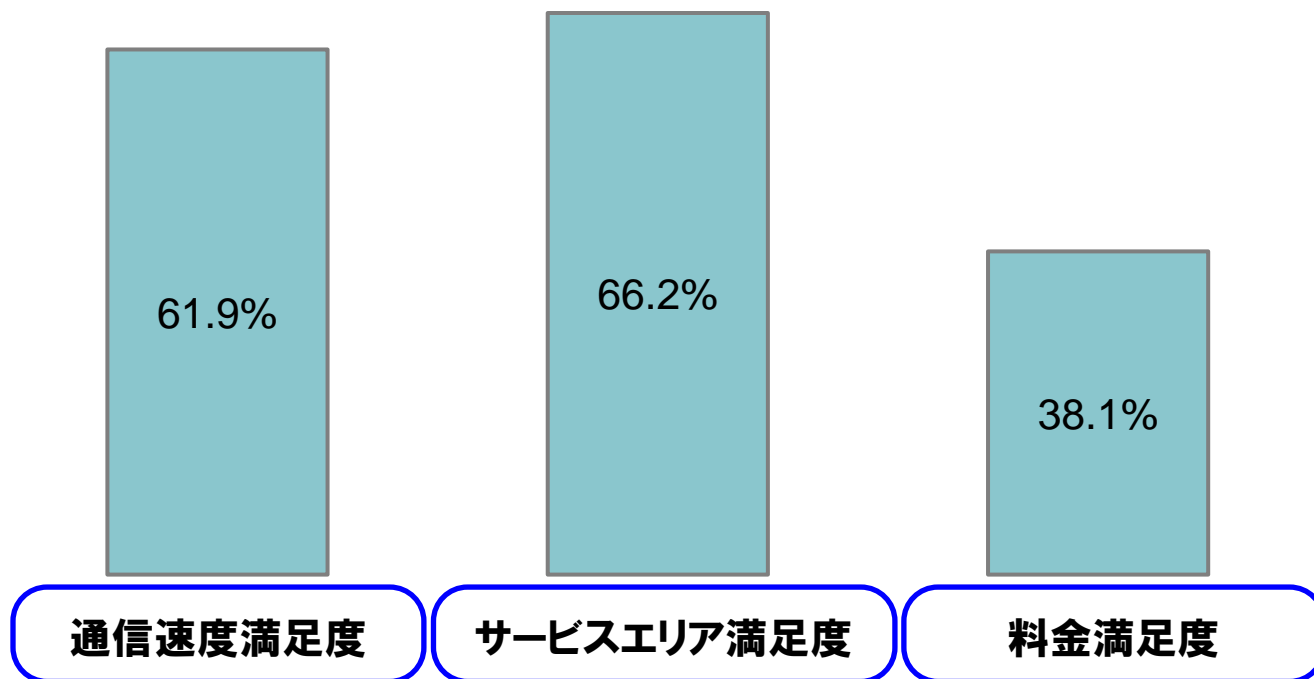
(3) 日本のスマートフォンユーザー向けの Webアンケート

構成員限り

日本のスマートフォンユーザー向けのWebアンケートの調査結果

サービスエリアや通信速度に対するユーザーの満足度が、料金満足度と比べて高いことがWebアンケートの結果から読み取れる。
(2)で示した「日本の料金水準は中位レベル、通信品質は上位レベル」通りの満足度を示している。

「満足」および「どちらかと言えば満足」の比率



各 n = 1,000

本調査全体を通じて、世界的に、料金水準と通信品質には一定の相関性があることが認められる。

日本の料金水準は諸外国と比べて中位の水準であるものの、4G接続率やダウンロード通信速度等の通信品質を踏まえれば、必ずしも高くないとも考えられそう。一方、アンケート結果から、日本のユーザーは、日本の料金水準が中位レベル、通信品質が上位レベルである現状を的確に認識しているとも言えるだろう。

本年4月の楽天モバイルのMNO本格参入等を通じて、携帯電話事業者間でのより一層の競争が今後期待されるところではあるが、携帯電話が重要な社会インフラとなった現在、料金水準と通信品質の両面からの視点が必要であり、日本の利用者の通信品質に対する要求水準等も踏まえた分析が求められると考えられないだろうか。

ICT総研では、利用者にとって議論・判断の指標となる調査を今後とも実施していく考えである。